

年 頭 所 感



PC 建築部会部会長

八 田 英 治

大成ユーレック株式会社 代表取締役社長

2015年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には平素よりPC建築部会活動に多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年のわが国経済は、4月の消費増税後の景気の足踏みが予想外に長引いたなか、円安が追い打ちをかけ、物価の上昇が家計に押し掛かりました。企業収益の改善や人手不足から雇用情勢は改善し所得は伸びているものの、物価上昇の勢いには逆らえず、個人消費が奮いませんでした。消費再増税が延期されたこの間に、所得増が消費や投資に繋がる好循環を生み出すような諸政策に期待するところであります。

建設業界におきましては、資機材価格の高騰や労務費の高止まりなどは続いているものの、大手や準大手の企業の中には、採算重視の経営により利益率が回復したところもありました。しかしながら、収益率をさらに上げていくためには、受注段階での採算検討や施工段階でのコスト削減など更なる経営努力が必要であり、楽観視は禁物であります。

今年の3月には、東日本大震災からはや4年目を迎えようとしております。昨年より、災害公営住宅への取り組みもようやく本格化し、福島県いわき市では11団地の設計および12団地の工事監理を受託しております。災害復興住宅は今後もかなり多くの着工が見込まれますので、今まで以上に現地での資機材不足や人手不足が懸念されるなか、PC技術を有効に活用した提案を関係事業団体に対して働きかけるとともに、一級建築士事務所（一社）プレハブ建築協会と連携して、災害公営住宅の整備に協力していきたいと考えております。

PC建築部会は、PC建築の需要の拡大と、工業化技術の開発、PC部材の品質向上を図ることを目指して、各種活動を推進しております。具体的には、PC部材品質認定事業、PC構造審査事業、PC工法施工・PC部材製造管理技術者資格認定事業の3事業を実施しております。

昨年の主な活動についてですが、PC部材品質認定制度に基づくN認定及びH認定の不定期審査を8月より開始し国内5工場を実施しました。PC構造審査については4物件実施し、また、第7回目のPC工法施工管理技術者試験及び更新講習を実施しております。本年も引き続き3事業を継

続いていくほか、災害公営住宅へのP C工法の採用を積極的に実施していきたいと考えております。P C建築部会として、P C建築のメリットを積極的にアピールして、P C建築の発展を通して社会に貢献していきたいと考えております。

建設業界の持てる技術やノウハウを集結し、これからもP C建築のさらなる発展を目指して活動してまいりますので、どうか皆様のご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年の皆様方のご健康、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。